

財産目録

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	3,351,879
預金	普通預金 中国銀行岡南支店他16件		224,971,766
	定期預金 中国銀行岡南支店 1件	運転資金として	50,000,000
棚卸資産		販売物品の在庫である。	552,291
前払金		公用車等作業スペース借上料である。	30,600
未収入金		公益目的事業・収益事業等会計の収益である。	87,822,678
前払費用		施設賠償保険料の翌年度分経費である。	374,650
未収消費税等			856,418
流動資産合計			367,960,282
(固定資産)			
基本財産			
	基本財産引当定期預金 中国銀行岡南支店1件	管理目的の業務に使用する財産であり、運用益を事業の財源として使用している。	114,000,000 410
	投資有価証券 SMBC日興ユーティアル証券岡山支店		113,999,590 66,614,696
	みずほ証券岡山支店		23,690,804
	大和証券岡山支店		23,694,090
緑化基金	緑化基金引当定期預金 中国銀行岡南支店1件	公益目的保有財産であり、運用益を民有地等の緑化事業の財源として使用している。	306,925,496 608,016
	投資有価証券 岡三証券岡南支店		306,317,480 41,549,895
	SMBC日興ユーティアル証券岡山支店		139,826,271
	三菱UFJモルガン・スタンレー証券岡山支店		36,088,687
	みずほ証券岡山支店		44,251,987
	大和証券岡山支店		44,600,640
特定資産			162,344,130
	退職給与引当定期預金 中国銀行岡南支店2件	職員の退職金として管理している財源である。	122,609,420
	退職給与引当預金 中国銀行岡南支店1件	職員の退職金として管理している財源である。	2,027,000
	減価引当定期預金 中国銀行岡南支店3件	協会が取得した固定資産買換の取得財源の一部として管理している財源である。	37,707,710
その他固定資産			
	建物	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	7,225,401 2,818,413
	建物附属設備	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	590,000
	構築物	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	2,192,000
	車両運搬具	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	30,393,469
	什器備品	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	44,911,200
	減価償却累計額		△ 78,492,898
	電話加入権	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	322,400
	ソフトウェア	公益目的保有財産であり、指定管理事業等に使用している。	4,330,613
	預託金	公益目的保有財産であり、社用車のサイクル費用である	160,204
固定資産合計			590,495,027
資産合計			958,455,309
(流動負債)			
	未払金	公益目的事業、収益目的事業等の債務未払分である。	136,182,481
	未払費用	公益目的事業、収益目的事業等の債務未払分である。	6,197,756
	前受金	公益目的事業、収益目的事業等の業務に移用する翌事業年度の施設利用料等である。	2,747,837
	預り金	源泉所得税、住民税	855,099
	賞与引当金	公益目的事業、収益目的事業等の業務に従事する職員の賞与の引当金である。	25,300,000
	未払法人税等		1,051,900
	未払消費税等		8,021,218
流動負債合計			180,356,291
(固定負債)			
	退職給付引当金	公益目的事業、収益目的事業等の業務に従事する職員の退職給付金の引当金である。	124,636,420
固定負債合計			124,636,420
負債合計			304,992,711
正味財産			653,462,598

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである。

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
債券・・・移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産・・・最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
建物、ソフトウェア・・・定額法
建物附属設備、構築物、車両運搬具、什器備品・・・定率法
ただし、期中の取得価額10万円以上30万円未満の少額減価償却資産の合計額が300万円に達するまでは一括償却
300万円を超えるものは取得価額10万円以上20万円未満の少額減価償却資産は、3年均等償却
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務(自己都合要支給額)に基づき計上している。
賞与引当金・・・職員の賞与の支給に備えるため、当事業年度に対応する支給見込額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 基本財産、緑化基金及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産、緑化基金及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当定期預金	410	0	0	410
投資有価証券	113,999,590	0	0	113,999,590
小 計	114,000,000	0	0	114,000,000
緑化基金				
投資有価証券	306,317,480	0	0	306,317,480
緑化基金引当定期預金	331,890	276,126	0	608,016
小 計	306,649,370	276,126	0	306,925,496
特定資産				
退職給付引当資産	121,671,345	3,659,075	694,000	124,636,420
減価償却引当資産	37,707,710	0	0	37,707,710
小 計	159,379,055	3,659,075	694,000	162,344,130
合 計	580,028,425	3,935,201	694,000	583,269,626

3. 基本財産、緑化基金及び特定資産の財源等の内訳

基本財産、緑化基金及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充 当額)	(うち一般正味 財産からの充 当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当定期預金	410	(205)	(205)	-
投資有価証券	113,999,590	(56,999,795)	(56,999,795)	-
小 計	114,000,000	(57,000,000)	(57,000,000)	-
緑化基金				
投資有価証券	306,317,480	(306,317,480)	(0)	-
緑化基金引当定期預金	608,016	(608,016)	(0)	-
小 計	306,925,496	(306,925,496)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	124,636,420	(0)	(0)	(124,636,420)
減価償却引当資産	37,707,710	(0)	(37,707,710)	(0)
小 計	162,344,130	(0)	(37,707,710)	(124,636,420)
合 計	583,269,626	(363,925,496)	(94,707,710)	(124,636,420)

4. 担保に供している資産

該当ありません

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,818,413	2,748,745	69,668
建物附属設備	590,000	521,354	68,646
構築物	2,192,000	1,790,577	401,423
什器備品	44,911,200	43,933,736	977,464
車両運搬具	30,393,469	29,498,486	894,983
合 計	80,905,082	78,492,898	2,412,184

6.保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当ありません。

7.債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債	420,317,070	492,720,590	72,403,520
合計	420,317,070	492,720,590	72,403,520

8.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当ありません。

9.補助金等の内訳並びに交付者、登記の増減額及び残高

該当ありません。

10.関連当事者の取引の内容

該当ありません。

監査報告書

公益財団法人 岡山市公園協会

理事長 加藤 主税 様

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行いました。その結果につき次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査をいたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見書

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和2年6月2日

公益財団法人岡山市公園協会

監事

福原 一義 

監事

横山 純子 